

はじめに

子どもは、一人ひとりがかけがえのない存在であり、その豊かな成長は、親をはじめ、地域や社会全体の願いです。また、家庭は、子どもの健やかな育ちの基盤として、子どもの人格を形成する上で重要な役割を担っています。

しかし、少子化の進行や共働き家庭の増加をはじめとする近年の大きな環境変化の中で、家庭のあり方は多様化し、地域とのつながりも薄れてきています。

このような状況の中で、子育てやしつけ、教育に不安を感じる保護者、虐待や貧困といった困難な課題を抱える家庭が増加しており、社会全体で多様な家庭を支えていく必要があります。

三重県では、平成20年に親同士が子育てについて、思いや意見を出し合い、話し合うことをとおして、自身の役割や成長に自ら「気づき」「学ぶ」ためのワークシートとして「親なびワーク」を作成しました。平成26年には、乳幼児を持つ親を主な対象とする「子育てはっぴいパパ・ママワーク」として改訂し活用を図ってきたところです。

そして、この度、家庭教育の充実を図るための応援のあり方を示す「みえ家庭教育応援プラン」を新たに策定したことをふまえ、子育ての不安の解消から家庭教育の応援までに対応できるよう、これまで活用してきたワークシートを発展・継承させる形で「みえの親スマイルワーク」を作成しました。

このワークは、子育ての意義や喜び、習慣づくりの大切さ等について、設定されたテーマをもとに、参加者同士が意見を出し合い、話し合うことで、子育ての不安感や負担感を軽減するとともに、思いを共感したり、家庭教育について自ら気づいて考える内容となっています。

保育所や幼稚園、学校、PTAの集まり、地域の子育て支援センターやサークル等で、親の育ちを応援する学びの機会として積極的に活用いただき、ご意見、ご要望等をお寄せいただきたいと願っています。いただいたご意見等をもとに、さらに検討、修正し、より活用しやすいワークシートにしていきたいと考えています。